

令和6年度 中学生チャレンジテスト（1、2年生）の概要及び結果

高槻市教育委員会 令和7年4月

実施の目的

- 大阪府教育委員会、市町村教育委員会及び学校が、生徒の学力の状況をつかむことで、教育の成果と課題を明らかにし、今後の教育にいかします。
- 生徒が、自分の学習の到達状況を正しく知ることにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高めます。
- 大阪府教育委員会が、テスト結果を使って、大阪府公立高等学校入学者選抜の調査書に記載する評定が、公平性の高いものであるかどうかを確認する資料を作成し、市町村教育委員会と学校に提供します。

実施の概要

- 実施日：令和7年1月9日（木）
- 実施校数及び実施生徒数 1年生：中学校18校（2,379人）、2年生：中学校18校（2,445人）
- 学力に関する調査 国語・社会（A、Bから選択）・数学・理科（A、Bから選択）、英語
- 生徒に対するアンケート 11問

調査結果の取扱い

本結果は学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのため、序列化や過度な競争を目的とした取扱いにつながらないように十分配慮をお願いします。

結果については、本実施の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要と考えます。

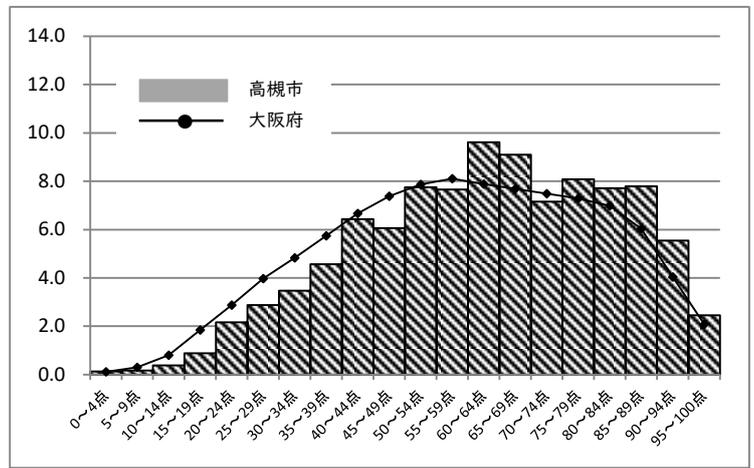
教科別・平均点比較（対大阪府）

教科	高槻市	大阪府	差（対府）
中1 国語	62.2	58.5	+3.7
中1 数学	52.4	49.8	+2.6
中1 英語	67.6	61.5	+6.1
中2 国語	68.7	65.5	+3.2
中2 社会A	51.9	49.5	+2.4
中2 数学	54.0	50.7	+3.3
中2 理科A	48.1	45.9	+2.2
中2 理科B	47.8	47.2	+0.6
中2 英語	58.4	54.0	+4.4

※社会Bについては、選択している学校はありません。

R6 1年生 チャレンジテスト 分析
中学校 国語

	平均点	無解答率
高槻市	62.2	7.8
大阪府	58.5	9.4



1. 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		
				高槻市	大阪府	
全体		31	100	62.2	58.5	
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	9	21	14.6	14.1
		情報の扱い方に関する事項	3	13	7.7	6.9
		我が国の言語文化に関する事項	6	21	12.6	11.9
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	6	24	12.4	11.2
		書くこと	5	18	11.4	10.8
		読むこと	9	31	20.2	19.1
評価の観点	知識・技能	18	55	34.9	32.9	
	思考・判断・表現	20	73	44.0	41.0	
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-	
問題形式	選択式	16	54	36.5	34.8	
	短答式	12	32	19.3	18.0	
	記述式	3	14	6.4	5.7	

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [三1]

(1) 問題の概要

「私にできる身近なエコ」というテーマの意見書で、下書き中の内容を説明したものとして適しているものを選択します。

(2) 成果

文章の構成や展開を考えることができています。

3. 課題が見られた設問 [四5]

(1) 問題の概要

商店街の良さを伝えるキャッチコピー案を選択し、選択した理由を書きます。

(2) 課題

自分の考えを、根拠を明確にして書くことに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

文章を読む際には、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して読むように指導することが重要です。

文章を書く際には、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫するよう指導することが大切です。

設問 四5 (抜粋)

条件1 「話し合いの一部」中のキャッチコピーとして大切な観点から考えたときに、あなたが選んだ案にどのような工夫がみられるのかを具体的に書くこと。

条件2 四十字以上、七十字以内で書くこと。

A

あなたのほしいもの、みつけます

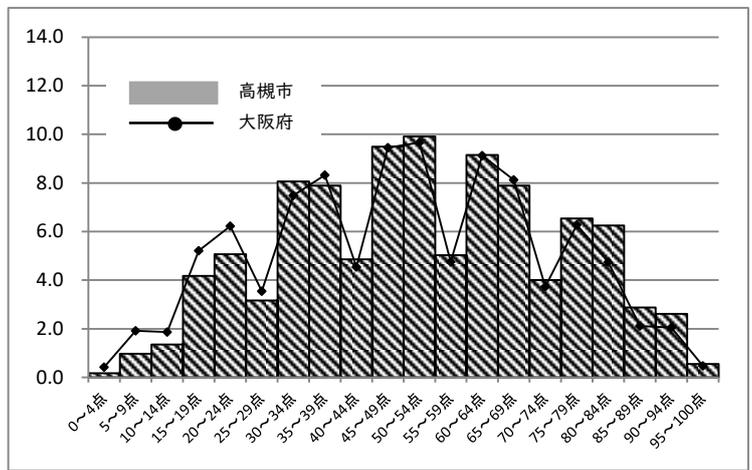
B

思い出の店、思い出の街

5 矢島さんはこの後の話し合いで、「話し合いの一部」中の「報道②の言葉を受けて、次のA、Bのどちらかの案に賛成する意見を述べようとしています。あなたが矢島さんならどちらの案を選び、どのような理由を述べますか。A、Bから一つ選び、選んだ理由をあととの条件にしたがって書きなさい。

R6 1年生 チャレンジテスト 分析 中学校 数学

	平均点	無解答率
高槻市	52.4	7.5
大阪府	49.8	8.8



1. 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
	全体	33	100	52.4	49.8
学習指導要領の領域	数と式	16	48	24.4	23.3
	図形	6	18	9.9	9.2
	関数	11	34	18.0	17.3
	データの活用	-	-	-	-
評価の観点	知識・技能	26	78	45.1	43.4
	思考・判断・表現	7	22	7.2	6.5
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	16	48	28.8	27.5
	短答式	15	45	23.1	21.9
	記述式	2	7	0.5	0.4

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [4 (6) ①]

(1) 問題の概要

使うスプーンの素が xg であるときの x の変域を選びます。

(2) 成果

具体的な事象において、変数の変域を求めることができています。

3. 課題が見られた設問 [5 (2)]

(1) 問題の概要

手順で作図した直線 AP について成り立つ事柄を選びます。

(2) 課題

垂線の作図の方法についての理解に課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

作図の指導に当たっては、一方的に作図の方法を教えるのではなく、図形の対称性や図形を決定する要素に着目して、作図する際に一つ一つの作業の意味を考えながら作図の方法を見だし、その方法を図形の性質や関係性に基づいて説明する活動が重要です。その際、数学的な表現を用いて筋道を立てて説明することを通して、論理的に考察し、表現する力を養うことが大切です。

設問 5 (2) (抜粋)

(2) 図2の△ABCにおいて、あとの手順で直線APを作図します。

手順

① 頂点Aを中心として、辺BCと2点で交わる円をかき、その円と辺BCとの交点を点D、Eとする。

② 点D、Eをそれぞれ中心として、互いに交わるように等しい半径の円をかき、その交点の1つを点Pとする。

③ 頂点Aと点Pを通る直線をひく。

この手順で作図した直線APについて、図2の△ABCがどんな三角形でも成り立つことだけが、次のア～エの中にあります。それを1つ選びなさい。

ア 直線APは、∠BACの二等分線である。

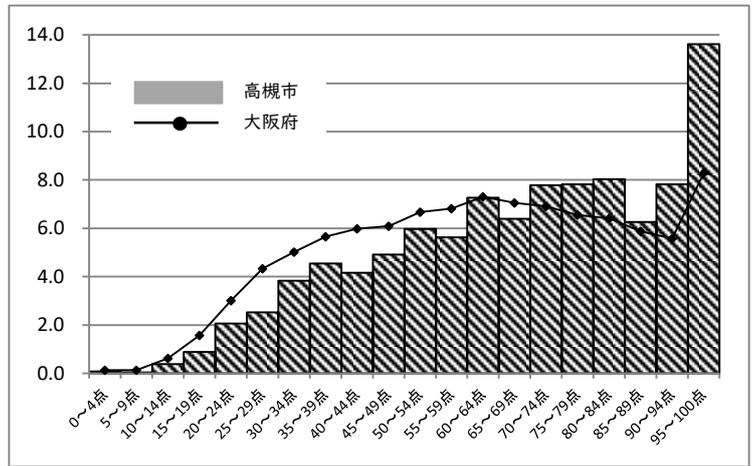
イ 直線APは、頂点Aと辺BCの中点を通る直線である。

ウ 直線APは、頂点Aを通り辺BCに垂直な直線である。

エ 直線APは、辺BCの垂直二等分線である。

R6 1年生 チャレンジテスト 分析 中学校 英語

	平均点	無解答率
高槻市	67.6	4.4
大阪府	61.5	5.8



1. 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
全体		39	100	67.6	61.5
学習指導要領の領域	聞くこと	15	32	23.5	22.0
	読むこと	17	47	31.6	28.5
	話すこと（やり取り）	-	-	-	-
	話すこと（発表）	-	-	-	-
	書くこと	7	21	12.6	11.1
評価の観点	知識・技能	20	50	35.9	32.8
	思考・判断・表現	19	50	31.7	28.7
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	31	78	57.8	53.6
	短答式	5	13	7.1	6.0
	記述式	3	9	2.7	2.0

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [5 (2)]

(1) 問題の概要

会話文の空欄に入る適切な語（人称代名詞）を選びます。

(2) 成果

正しい文を書くための基本的な語や文法事項を理解することができています。

3. 課題が見られた設問 [9 (4)]

(1) 問題の概要

スピーチとその内容に関するやり取りを読み、スピーチややり取りの内容と合わない英文を選びます。

(2) 課題

ベトナムの学校生活や文化について、スピーチの原稿とやり取りの内容を読み取り、話の概要や要点を捉えることに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

「読むこと」の活動においては、広告やパンフレット、予定表などできるだけ現実に近い場面を設定し、詳細な情報にとらわれることなく全体像を把握しながら読み進めることが大切です。また、読んで捉えた内容を相手に分かりやすく話したり書いたりする言語活動を行うなど、伝える相手を意識した活動を取り入れることも有効です。

設問 9 (4) (抜粋)

【スピーチ】

Hello, everyone.

In Vietnam, the *new school year *starts in September. Students study in their junior high schools *for four years. Students in Vietnam study *hard.

My school in Vietnam is a big school, and *about 3,000 students study in my school. About *half of the students study there *from 7:00 to 11:30, and *the rest of the students study there from 12:30 to 17:00. I *leave home for school *at 6:30. I study in my school *in the morning. About 400 students study Japanese in my school. Students in my school *wear *school uniforms. I like my school uniform. *Popular sports in my school in Vietnam are *DaCau and basketball. Students in my school enjoy them *at recess. This is my

【やり取り】

Student: Lan, what do you do *in the afternoon in Vietnam?

Lan: I study in my house.

Student: What ① do you study?

Lan: I usually study math and English.

(4) 次のア～エのうち、【スピーチ】や【やり取り】の内容と合わないものを1つ選びなさい。

ア The new school year starts in September in Vietnam.

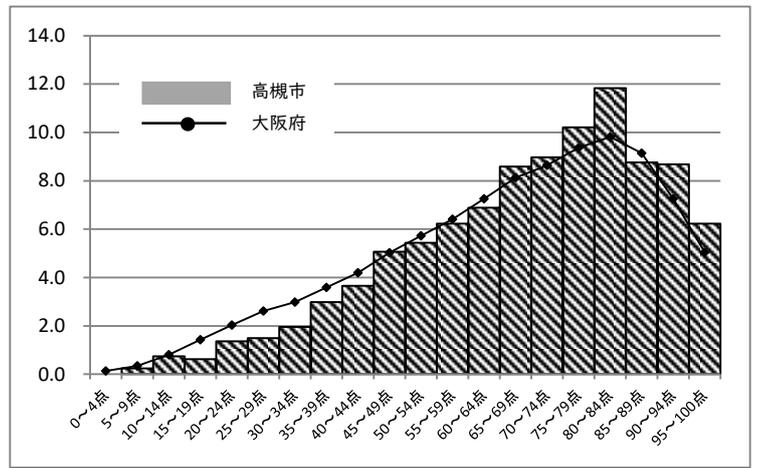
イ Students study in their junior high schools for four years in Vietnam.

ウ Lan studies in her school in Vietnam from 12:30 to 17:00.

エ Students in Lan's school in Vietnam wear school uniforms.

R6 2年生 チャレンジテスト 分析
中学校 国語

	平均点	無解答率
高槻市	68.7	8.0
大阪府	65.5	9.3



1. 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		
				高槻市	大阪府	
全体		31	100	68.7	65.5	
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	10	25	18.0	17.8
		情報の扱い方に関する事項	1	5	2.2	1.9
		我が国の言語文化に関する事項	8	28	18.1	17.3
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	5	18	12.5	11.5
		書くこと	3	11	6.6	5.9
		読むこと	10	36	24.7	23.6
評価の観点	知識・技能	19	58	38.3	37.0	
	思考・判断・表現	18	65	43.8	41.0	
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	
問題形式	選択式	15	50	37.2	35.6	
	短答式	14	40	26.7	26.0	
	記述式	3	14	7.0	6.1	

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [ニ2]

(1) 問題の概要

文章中の空欄に入る言葉(接続詞)として適しているものを選択します。

(2) 成果

文章の中での言葉の働きを理解することができています。

3. 課題が見られた設問 [三4(2)]

(1) 問題の概要

資料を用いて話す内容を書きます。

(2) 課題

図表などの資料から分かることを前後の文脈に合わせて書くことに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

図表などの資料から分かることを書くときは、まず図表などから読み取れることを箇条書きで書き出し、書き出したものを取捨選択し、前後の文章に合わせてどのように配列するかを考えて文章を書くことが大切です。

設問 三4 (抜粋)

【発表原稿の一部】 (省略)

国が指定している伝統的工芸品には陶磁器、漆器、織物、染色品など様々なものがあります。そこで、伝統的工芸品を作ることに従事している人の全体の数とそのうち陶磁器を作ることに従事している人の数の推移について調べてみました。

【資料】で両者の移り変わりの様子を比較してみると、両者の間には違いがみられ、あことがわかりました。なぜそのような違いがあるのかという疑問がわき、伝統的工芸品や陶磁器に対する興味が増したので、これからも調べていきたいと思っています。

上田さんへのインタビューや自分で調べたことを通して、あ

(省略)

【資料】

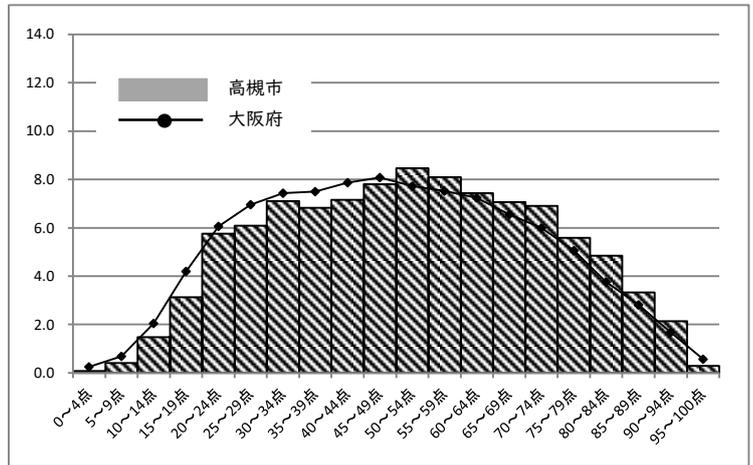
「伝統的工芸品を作ることに従事している人の*全体の数とそのうち*陶磁器を作ることに従事している人の数の推移」

年度	全体 (人)	陶磁器 (人)
平成2年度	206,588	23,781
平成12年度	96,915	17,179
平成22年度	73,608	16,941
令和2年度	54,265	14,797

※伝統的工芸品…伝統的な技術または技法によって主に手作業で製造される工芸品のうち、国が指定している工芸品のこと。
 *全体…織物、染色品、その他織物、陶磁器、漆器、木工品、竹工品、金工品、仏壇・仏具、和紙、文具、石工品、人形、その他工芸品、材料・器具を合わせたもの。
 *陶磁器…粘土などで形を作り、乾燥後に適切な温度で焼いた際の総称。

R6 2年生 チャレンジテスト 分析 中学校 社会

	平均点	無解答率
高槻市	51.9	4.5
大阪府	49.5	5.2



1. 分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
全体		36	100	51.9	49.5
学習指導要領の領域	地理的分野	20	55	28.6	27.5
	歴史的分野	16	45	23.2	22.0
評価の観点	知識・技能	30	80	42.7	41.0
	思考・判断・表現	6	20	9.2	8.5
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—
問題形式	選択式	27	73	36.7	34.9
	短答式	7	19	11.4	11.2
	記述式	2	8	3.8	3.4

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [1 (3) ②]

(1) 問題の概要

京都市の市街地で見つけた建物等の工夫と、建物等の場所を示した地図を見て条件(①歴史、景観の2語を用いる、②25文字以内)に合わせ、その工夫した目的を説明します。

(2) 成果

資料から読み取れる情報をもとに考察し説明することができています。

3. 課題が見られた設問 [2 (2)]

(1) 問題の概要

3大都市圏および地方圏における人口の移り変わりを示した表と2020年の人口の年齢構成を示したグラフの組み合わせから3大都市圏を選び、判断した理由を書きます。

(2) 課題

都市圏と地方圏の人口構成や人口の推移のデータを両者の違いをもとに考察し、判断した理由を説明することに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

グラフなどの複数の資料から読み取った情報について考察するときは、情報を比較したり関連付けたりして、共通点や相違点、特徴的な点について捉えることが必要です。

そのためには、説明したり、議論したり、文章に書いたりする学習活動が重要です。

設問 2 (2) (抜粋)

図4 3大都市圏および地方圏の人口の移り変わり(1960年～2020年)と2020年における人口の年齢構成

ア

○人口の移り変わり(1960年～2020年) (万人)						
1960年	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年	2020年
3,738	4,827	5,592	6,046	6,287	6,546	6,641

○2020年における人口の年齢構成

0～14歳 12.0%	15～64歳 61.5%	65歳以上 26.5%
-------------	--------------	-------------

イ

○人口の移り変わり(1960年～2020年) (万人)						
1960年	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年	2020年
5,692	5,639	6,114	6,315	6,496	6,290	5,974

○2020年における人口の年齢構成

0～14歳 12.2%	15～64歳 56.7%	65歳以上 31.1%
-------------	--------------	-------------

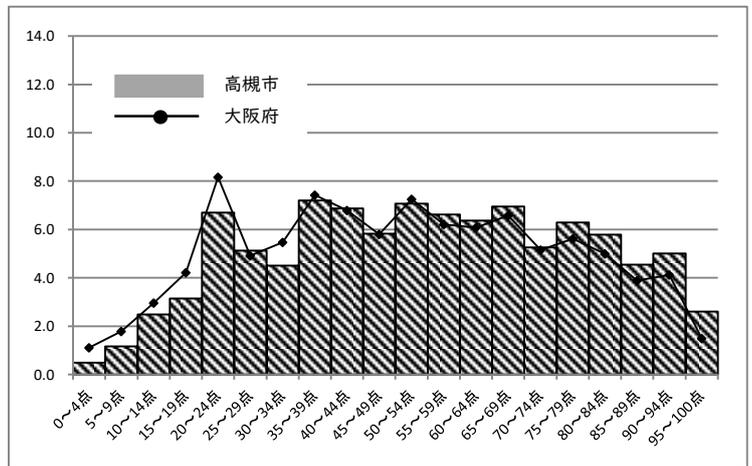
問い 図4中のア、イのいずれが3大都市圏に当たるかを選びなさい。また、そのように判断した理由を、3大都市圏と地方圏とを比べて、次の条件に従って書きなさい。

条件1 人口の移り変わりと2020年における人口の年齢構成のそれぞれから読み取れる特徴にふれて書くこと。

条件2 「3大都市圏は、」に続けて35字以内で書くこと。なお、数字を使う場合、2けた以上の数字は、1字とすること。

R6 2年生 チャレンジテスト 分析 中学校 数学

	平均点	無解答率
高槻市	54.0	8.3
大阪府	50.7	9.5



1. 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
	全体	27	100	54.0	50.7
学習指導要領の領域	数と式	36	36	22.2	20.9
	図形	30	30	15.9	15.0
	関数	34	34	15.85	14.7
	データの活用	-	-	-	-
評価の観点	知識・技能	62	62	37.0	35.2
	思考・判断・表現	38	38	17.0	15.5
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	55	55	31.9	30.0
	短答式	39	39	20.5	19.3
	記述式	6	6	1.7	1.3

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [3 (6)]

(1) 問題の概要

証明で用いられている合同条件や合同な図形の性質を選びます。

(2) 成果

証明の根拠として用いられている三角形の合同条件や合同な図形の性質を理解しています。

3. 課題が見られた設問 [2 (3)]

(1) 問題の概要

着目する数量を選び、その数量から二元一次方程式をつくります。

(2) 課題

着目する必要のある数量を見だし、その数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくることに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

連立二元一次方程式の文章問題については、一文ずつ区切って読み、立式に必要な情報と不要な情報を見分けることが必要です。立式の段階において数量の関係を捉えて、ある特定の量に着目して式をつくるようにしたり、捉えた数量を表や図などで表してその関係を整理したりすることも有効です。

設問 2 (3) (抜粋)

(3) 次の問題について考えます。

問題

ある中学校で、1年生と2年生の生徒全員を対象に、それぞれの「最も好きな給食のメニュー」を調査しました。

図中のグラフは、1年生と2年生のそれぞれについて、回答した人数が多かった上位3つのメニューと、そのメニューを回答した人数の学年全員の人数に占める割合を示したものです。ただし、1年生、2年生ともに生徒全員が回答したものとします。

最も好きな給食のメニュー (1年生)

最も好きな給食のメニュー (2年生)

1年生全員の人数と2年生全員の人数の合計が220人、ハンバーグと回答した、1年生の人数と2年生の人数の合計が38人とき、1年生全員の人数と2年生全員の人数をそれぞれ求めなさい。

1年生全員の人数と2年生全員の人数をそれぞれ求めるために、1年生全員の人数をx人、2年生全員の人数をy人として、連立方程式をつくります。

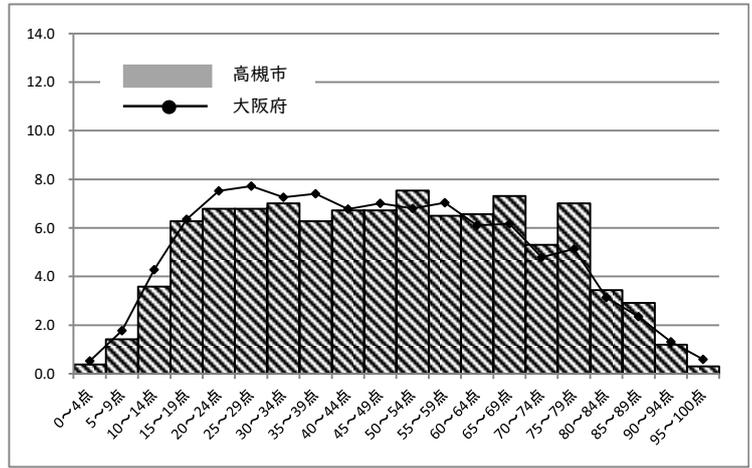
$$\begin{cases} x + y = 220 & \text{.....①} \\ \square & \text{.....②} \end{cases}$$

③の式は、「1年生全員の人数と2年生全員の人数の合計」に着目してつくりました。②の式も、問題中のある数量に着目してつくりことができます。着目する数量を、次のア～エから1つ選び、 \square に当てはまる式を求めなさい。

ア ハンバーグと回答した、1年生の人数と2年生の人数の合計
 イ ハンバーグと回答した、1年生の人数と2年生の人数の差
 ウ ハンバーグと回答した、1年生の割合と2年生の割合の合計
 エ ハンバーグと回答した、1年生の割合と2年生の割合の差

R6 2年生 チャレンジテスト 分析
中学校 理科 A

	平均点	無解答率
高槻市	48.1	6.1
大阪府	45.9	6.6



1. 分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
全体		30	100	48.1	45.9
学習指導要領の領域	「エネルギー」	6	20	7.7	7.6
	「粒子」	12	40	18.5	17.6
	「生命」	12	40	21.9	20.8
	「地球」	-	-	-	-
評価の観点	知識・技能	16	51	29.3	28.5
	思考・判断・表現	14	49	18.8	17.5
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	22	72	34.8	33.7
	短答式	7	24	12.3	11.7
	記述式	2	8	3.3	2.7

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [3 (1)]

(1) 問題の概要

銅が酸化されて酸化銅になるようすを表す化学反応式を選びます。

(2) 成果

銅と酸素が結びつくときの化学変化や化学反応式について理解できています。

3. 課題が見られた設問 [4 (2)]

(1) 問題の概要

水の電気分解により、反応した水分子の数と生成した水素分子の数をそれぞれ求めます。

(2) 課題

化学反応式の係数の比から、各分子の数を考えることに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

化学変化は、原子や分子のモデルで説明できることや、化学式は化合物の組成を表していることを理解しておく必要があります。 $2\text{H}_2\text{O} \rightarrow 2\text{H}_2 + \text{O}_2$ (水の電気分解) を、言葉で説明する場面を設定するなど工夫が必要です。

設問 4 (2) (抜粋)

<実験> 水の電気分解により発生する気体の性質を調べる。

方法

- 図1のような実験装置を組み立てる。
- 電源装置の電源を入れる。
- 電極Aから発生した気体と電極Bから発生した気体のどちらか一方が 4.0cm^3 たまったら、電源を切る。
- 4.0cm^3 たまった方の気体にマッチの炎を近づけて変化を観察する。
- もう一方の気体の中に、火のついた線香を入れて変化を観察する。

図1

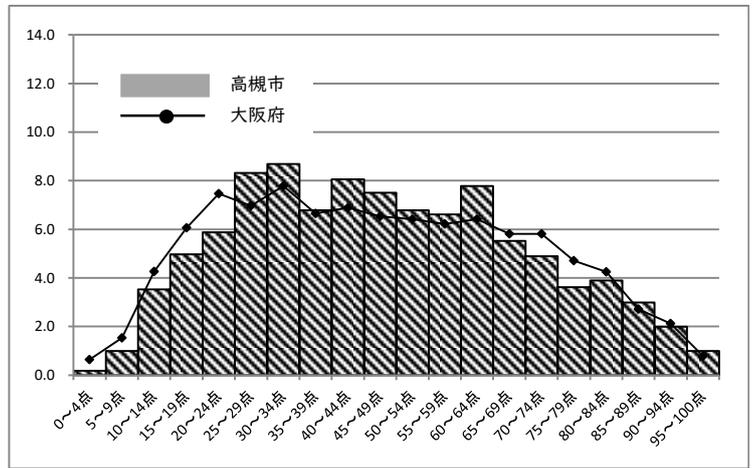
結果

- ・気体が 4.0cm^3 たまったのは、電極A側であった。
- ・方法4で気体にマッチの炎を近づけると、気体が音を立てて燃えた。
- ・方法5で気体の中に火のついた線香を入れると、線香が炎を上げて燃えた。

(2) 水の電気分解を表す化学反応式をもとに考えると、水の電気分解によって、8個の水素分子が生じるとき、分解された水分子の数と生じる酸素分子の数はそれぞれ何個になりますか、書きなさい。

R6 2年生 チャレンジテスト 分析 中学校 理科 B

	平均点	無解答率
高槻市	47.8	6.5
大阪府	47.2	7.4



1. 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
全体		30	100	47.8	47.2
学習指導要領の領域	「エネルギー」	-	-	-	-
	「粒子」	12	40	16.7	16.9
	「生命」	12	40	20.8	20.4
	「地球」	6	20	10.3	9.9
評価の観点	知識・技能	16	51	28.2	28.3
	思考・判断・表現	14	49	19.6	18.9
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	22	72	35.4	35.3
	短答式	7	24	11.5	11.4
	記述式	2	8	2.8	2.7

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [3 (1)]

(1) 問題の概要

銅が酸化されて酸化銅になるようすを表す化学反応式を選びます。

(2) 成果

銅と酸素が結びつくときの化学変化や化学反応式について理解できています。

3. 課題が見られた設問 [4 (2)]

(1) 問題の概要

水の電気分解により、反応した水分子の数と生成した水素分子の数をそれぞれ求めます。

(2) 課題

化学反応式の係数の比から、各分子の数を考えることに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

化学変化は、原子や分子のモデルで説明できることや、化学式は化合物の組成を表していることを理解しておく必要があります。 $2\text{H}_2\text{O} \rightarrow 2\text{H}_2 + \text{O}_2$ (水の電気分解) を、言葉で説明する場面を設定するなど工夫が必要です。

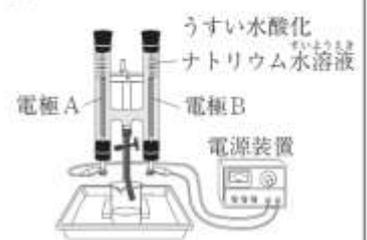
設問 4 (2) (抜粋)

<実験> 水の電気分解により発生する気体の性質を調べる。

方法

- 図1のような実験装置を組み立てる。
- 電源装置の電源を入れる。
- 電極Aから発生した気体と電極Bから発生した気体のどちらか一方が 4.0cm^3 たまったら、電源を切る。
- 4.0cm^3 たまった方の気体にマッチの炎を近づけて変化を観察する。
- もう一方の気体の中に、火のついた線香を入れて変化を観察する。

図1



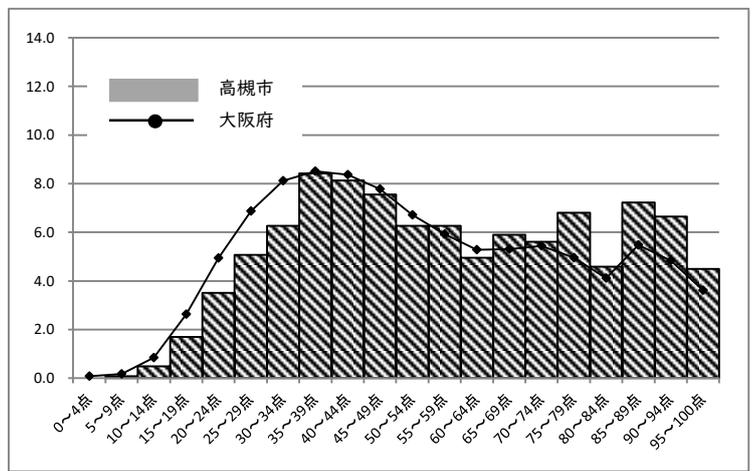
結果

- ・気体が 4.0cm^3 たまったのは、電極A側であった。
- ・方法4で気体にマッチの炎を近づけると、気体が音を立てて燃えた。
- ・方法5で気体の中に火のついた線香を入れると、線香が炎を上げて燃えた。

(2) 水の電気分解を表す化学反応式をもとに考えると、水の電気分解によって、8個の水素分子が生じるとき、分解された水分子の数と生じる酸素分子の数はそれぞれ何個になりますか、書きなさい。

R6 2年生 チャレンジテスト 分析 中学校 英語

	平均点	無解答率
高槻市	58.4	6.4
大阪府	54.0	7.9



1. 分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
	全体	37	100	58.4	54.0
学習指導要領の領域	聞くこと	12	28	21.7	20.5
	読むこと	9	28	14.4	13.0
	話すこと(やり取り)	-	-	-	-
	話すこと(発表)	-	-	-	-
	書くこと	16	48	22.3	20.5
評価の観点	知識・技能	21	55	31.9	29.7
	思考・判断・表現	16	45	26.5	24.3
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	26	69	46.5	43.4
	短答式	4	10	2.8	2.5
	記述式	7	21	9.0	8.1

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [2 (1)]

(1) 問題の概要

スミス先生の自己紹介を聞いて、「スミス先生はいつ学校に来ますか」という質問に対する適切な答えを選びます。

(2) 成果

日常的なまとまった話を聞き、話の概要を捉えて、内容の要点を適切に把握することができています。

3. 課題が見られた設問 [6 (4)]

(1) 問題の概要

リーフレットの一部分と会話文を読み、Why does she want to join it this year?という質問に対する適切な答えを英語2語で書きます。

(2) 課題

日常的な話題についての表とまとまりのある会話文を読み、話の概要を捉えて、内容の要点を把握し、質問に対して適切に英語で答えることに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

まとまりのある文章を読む活動では、個々の詳細な情報にとらわれることなく全体を捉えることが大切です。読んで捉えた概要を第三者に分かりやすく説明する言語活動を行い、説明した内容を書いてまとめるなどの活動を意識的に取り入れることが必要です。

設問6 (4) (抜粋)

【会話文】

Mayu: Hi, John. This is a leaflet about volunteer work in the Kaede City Half Marathon Race in (①) this year. I will join this volunteer work.

John: That's nice.

Mayu: I joined the *marathon race as a *runner last year. A lot of *volunteers helped me then. So, this year, I want to join the marathon race as a volunteer.

John: I see. Please tell me about the volunteer work in the marathon race.

Mayu: Sure. There are four kinds of volunteer work, Volunteer Work A, B, C and D. Volunteer Work A is to help runners at the *start area. Volunteer Work B is to help runners *by using *foreign languages at the *information desk. Volunteer Work C is to give runners water and food on the *roadside. Volunteer Work D is to give runners *medals at the *goal. I want to do Volunteer Work D. I (②) happy when I *got a medal at the goal last year.

John: Good. I also want to join the marathon race as a volunteer. Volunteer Work D looks nice, but I can't do it because I join my music club in the *afternoon every Saturday. I want to help runners at the start area because they will be *nervous there. So, I want to do Volunteer Work (③).

Mayu: Great! Let's help runners as volunteers!

(4) 【会話文】の内容から、次の〔質問〕に対する適切な答えとなるように、〔答え〕中の () に英語2語を入れて、英文を完成させなさい。

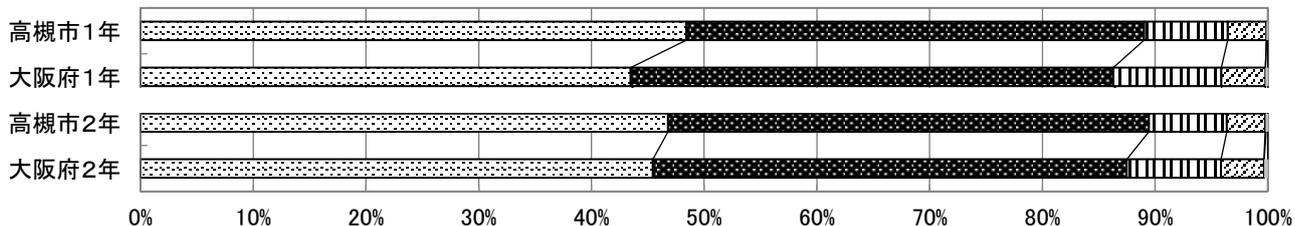
〔質問〕 Mayu wants to join volunteer work in the Kaede City Half Marathon Race this year. Why does she want to join it this year?

〔答え〕 A lot of volunteers () when she joined the Kaede City Half Marathon Race as a runner last year.

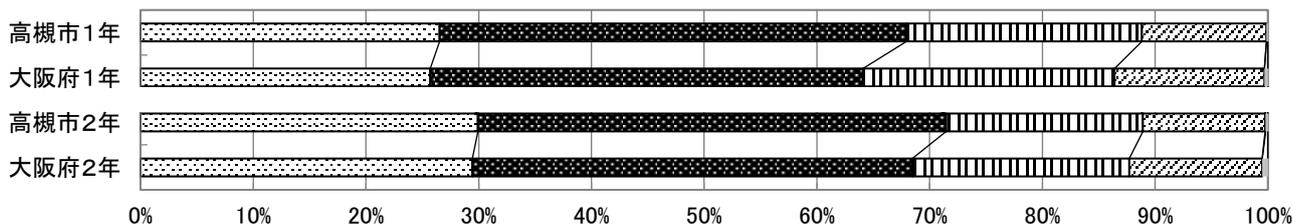
令和6年度中学生チャレンジテスト（1，2年生） 生徒に対するアンケートの結果

凡例： 1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない 5. その他 6. 無回答

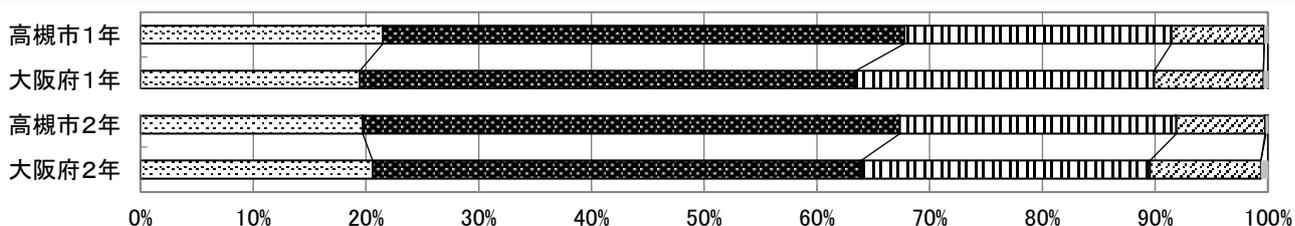
1. 文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。



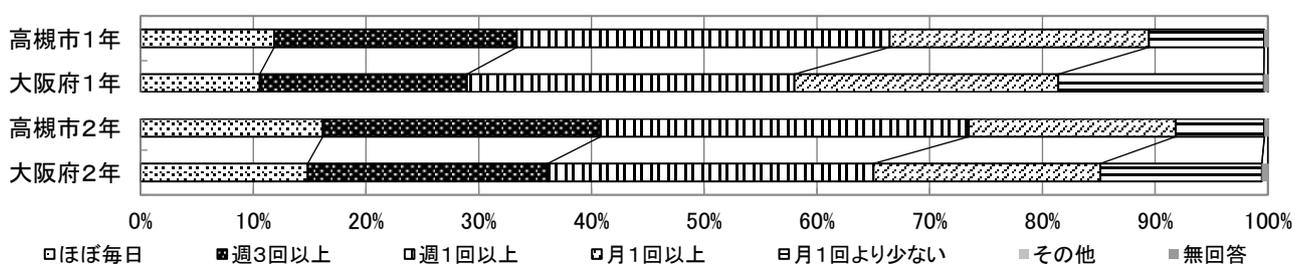
2. わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。



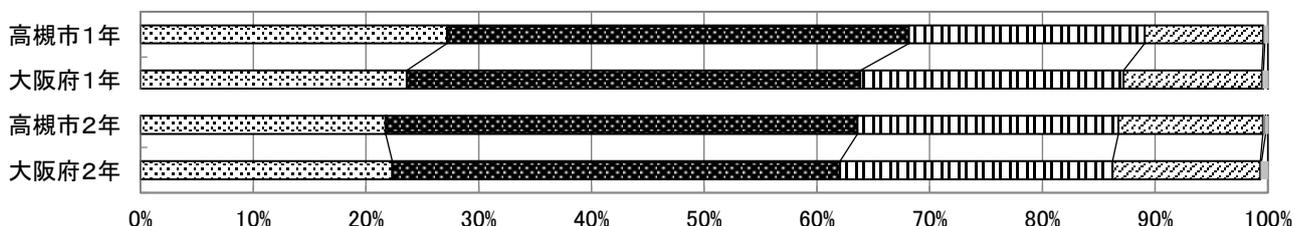
3. 授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。



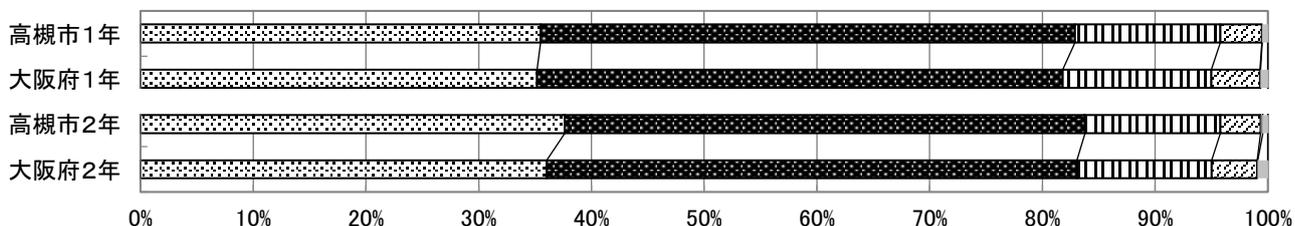
4. 授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。



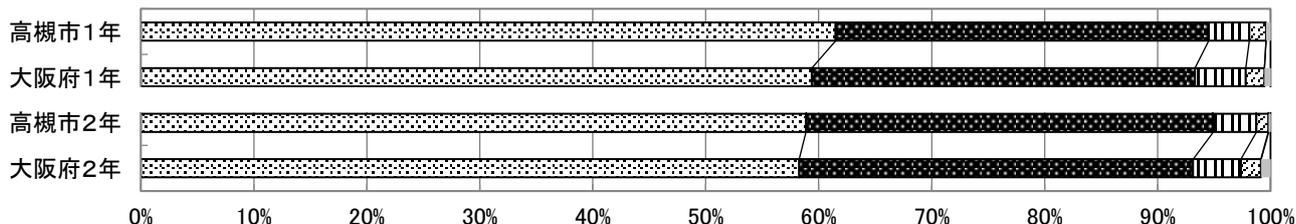
5. 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



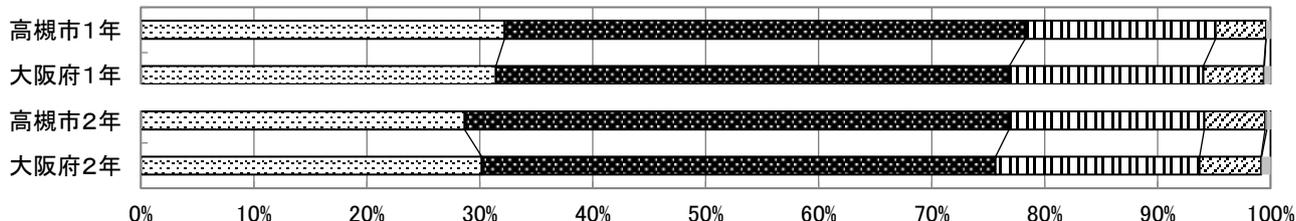
6. あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。



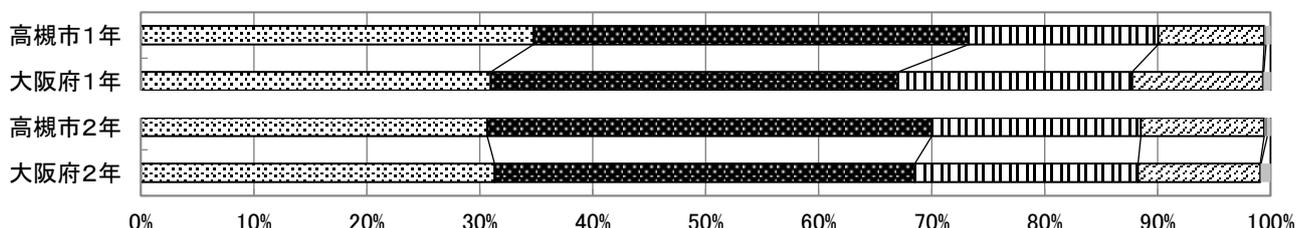
7. 学校などで、他の人と協力し合うことができる。



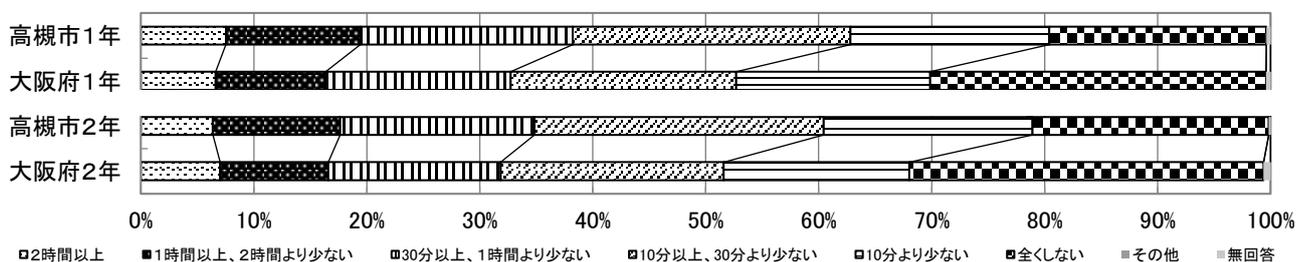
8. 難しいことがあっても、あきらめない。



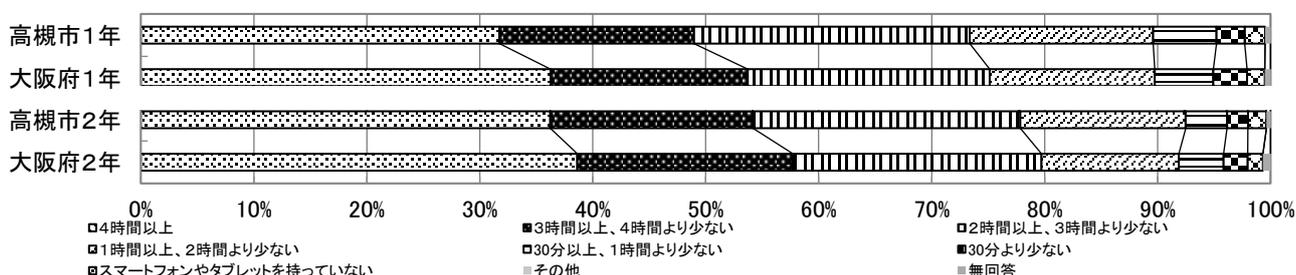
9. テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。



10. 普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、本（教科書は除く）を読みますか。



11. 普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、学習以外（ゲームやSNSなど）にスマートフォンやタブレットを使っていますか。



【生徒に対するアンケートの結果について】

大阪府と比較して、1、2年生ともに概ね肯定的な回答が上回っていました。特に、設問4「授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか」は、大阪府を大きく上回る結果となりました。

今後も、自ら学習の仕方を工夫し、粘り強く学び続ける力や、他者と協力しながら課題を解決する力を育成していきます。生徒が主体的に学習に取り組めるよう、ICT 機器も効果的に活用しながら、授業改善を進めていきます。